

平成20年度 事業報告

I 組織

事業名	事項	時期	実施内容
1. 協会組織の拡大	(1)組織拡大、協会強化のための新規会員加入促進	年間	①公共職業安定所等の協力を得て事業所、団体等に入会勧奨 ②各種講習会、研修会に出席の未加入事業所に対しての入会勧奨 ③助成金等支給対象事業所に対しての入会勧奨 ④平成20年度末会員数 620
2. 会議の開催	(1)監事による会計監査	20. 4.17	①会場 (社)栃木県雇用開発協会 出席監事 3名
	(2)第41回理事会	20. 5.22	①会場 二荒山会館 出席理事 14名
	(3)第32回通常総会	20. 5.22	①会場 二荒山会館 出席者 513名 (うち書面による表決465名)
	(4)情報誌編集委員会	20. 6.23 21. 2.21	①会場 (社)栃木県雇用開発協会 出席者 延べ20名
	(5)関係機関との会議	20. 7. 8	①会場 (社)栃木県雇用開発協会 出席者 13名
3. 会員へのサービス向上	(1)情報誌「雇用開発とちぎ」の発行	20. 6.27 20.11.21 21. 2.24	・ 第29号発行 1,000部 ・ 第30号発行 1,000部 ・ 第31号発行 1,000部
	(2)ホームページによる情報提供	年間	①当協会の概要案内 ②セミナー及び助成金等の情報提供
	(3)情報資料展示コーナーの整備	年間	①図書、出版物、情報資料の購入整備 拡充

II 高齢者雇用支援事業

事業名	事項	時期	実施内容
1. 雇用促進啓発事業	(1)「高齢者雇用フェスタ2008」へ参加	20.10.2	①会場 東京ドームシティ 参加者 4名
	(2)「とちぎ高齢・障害者雇用フェスタ」の開催	20.10.10	①会場 宇都宮市 アピア 参加者 154名 第1部 表彰式等 高齢者雇用開発コンテスト 厚生労働大臣表彰入賞伝達式 第2部 雇用促進セミナー 演題「70歳雇用に向けての心構え」 講師 70歳雇用支援アドバイザー 西岡 眞一氏 第3部 記念講演 演題「涙と笑いの90分 人生いつもありがとう」 講師:元NHKアナウンサー 吉川 精一氏
	(3)高齢者雇用開発コンテストの募集	20.5.12 応募締切	①高齢者の雇用開発に取り組んだ改善事例の応募勸奨を実施した。 応募企業 1件
	(4)高齢者雇用啓発資料の配付	年間	①事業主・事業主団体へパンフレットを配付
	(5)高齢者雇用支援、70歳雇用支援事業の啓発広報	20.9.27 20.10.中 20.10.中 20.9.1～ 21.2.28 20.11.1 20.12.中 21.1.20	①下野新聞に啓発広報記事を掲載 ②横断幕「年齢にかかわらず働く社会を」掲出 ③CRT栃木放送でスポット広告を放送 13本 ④バス側面ボディへの啓発広報広告 「脱年齢-日本の雇用が変わる-」 年齢にかかわらず働く社会を ⑤栃木県広報誌「とちぎ」に啓発広報記事を掲載 ⑥JRポケットサイズ版時刻表作成 ⑦下野新聞に啓発広報記事を掲載
2. 相談・助言事業	(1)高齢者雇用アドバイザーによる相談・助言	年間	①事業主に対し、高齢者雇用確保措置の義務化に伴う安定した継続雇用制度の導入及び定着に向け、賃金・退職金・人事管理制度等の見直しや職場改善等について、専門的かつ技術的な相談、援助を実施した。 配置人員 6名 相談・助言件数 計画 350件 実施 421件 企業診断システム実施件数 計画 28件 実施 33件

事業名	事項	時期	実施内容
	(2)高年齢者雇用アドバイザーによる企画立案作成援助	年間	①企業からの要請に基づき人事処遇制度や職場改善等条件整備についての具体的な提案を行った。 計画 6件 契約件数6件
	(3)職場活性化研修	年間	①職場管理者の能力アップや意識改革、中高年従業員の自己啓発の促進のための研修を実施した。 計画 3件 契約件数 5件
	(4)高年齢者雇用アドバイザー業務連絡会議等	年間	①労働局、アドバイザーとの業務連絡会議 実施 4回 (6/10、9/19、12/3、3/10) ②アドバイザー業務打合せ会 実施 4回 (4/11、7/29、10/10、2/5)
	(5)継続雇用推進インストラクターによる相談、援助	年間	①高年齢者雇用アドバイザー活動の円滑な推進を図るため、インストラクターを配置して、企業における高年齢者のために必要な雇用管理、改善等についての相談、高年齢者雇用についての情報収集等を実施した。 配置インストラクター 2名
	3.情報、資料収集、情報提供事業	(1)高年齢者情報資料コーナーの充実と情報、資料等の配付	年間
	(2)情報誌「雇用開発とちぎ」へ記事掲載	年間	①当協会情報誌に高年齢者雇用に関する記事を掲載、会員事業所、関係機関等に配付した。 「雇用開発とちぎ」 3回発行
4. 講習・研修事業	(1)高年齢者雇用管理研修会の開催	年間	①企業における高年齢者雇用問題について、積極的な取組みを促進するため、事業主を対象としたセミナーを開催(高年齢者雇用確保措置、助成金制度の活用等)した。 計画3回 実施 3回 ・県内全域 宇都宮市 出席 44社 ・県央地区 宇都宮市 出席 65社 ・県南地区 栃木市 出席 79社
	(2)高年齢者雇用推進者講習会の開催	年間	①企業の雇用推進者を対象に高年齢者雇用管理に関する講習会を開催した。 計画 4回 実施 3回 ・県内全域 宇都宮市 出席97社 ・県央地区 宇都宮市 出席36社 ・県北地区 大田原市 出席47社

事業名	事項	時期	実施内容
	(3)全国会議、研修会等へ参加	20.10.2 ～3	①高年齢者雇用推進リーダー研修及び高年齢者雇用開発フォーラム メルパルク東京 東京ドームホテル 出席者 1名 鹿沼商工会議所
5. 高齢期雇用就業支援事業	(1)高齢期における職業生活設計セミナーの開催	年間	①事業主及び在職者等の定年等による退職前後の職業生活設計に係るセミナー、交流会、情報提供を実施した。 セミナーの開催 68回 交流会の開催 1回 コーディネーター 2名
6. 各種助成金・奨励金の支給事業	(1)制度の周知、利用促進	年間	①事業主、関係団体、行政機関等にリーフレット等を配付し、各種助成金・奨励金制度の周知を実施した。
		年間	②労働局及び安定所の主催会議、事業主団体の会議等において、制度の説明と利用促進を実施した。
	(2)支給申請書の受理	年間	①中小企業定年引上げ等奨励金 申請件数 268件 支給金額 193, 100千円
	年間	②継続雇用定着促進助成金 申請件数 543件 支給金額 321, 280千円	
	年間	③高年齢者等共同就業機会創出助成金 申請件数 4件 支給金額 13, 437千円	
	年間	④地域創業助成金 申請件数 8件 支給金額 16, 593千円	
7. 関係行政機関・事業主団体等との協力体制の確立	(1)労働局・安定所、県等との連携	随時	①労働局、安定所、県へ随時訪問し、連絡調整を実施した。
		随時	②共催による研修、フェスタ等について協議を実施した。
		随時	③安定所業務連絡会議等で関係業務の説明を実施した。
		随時	④「70歳まで働ける企業」創出事業委託団体への支援を実施した。
	(2)独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構等との連携	年間	①各種会議・研修会等への出席
	20.4.22	・給付金業務担当者全国会議(東京都)	
	20.4.23	・全国施設長・事務局長合同会議(千葉県)	
	20.4.24	・全国業務担当部長会議(東京都)	
	20.4.25	・継続雇用推進インストラクター会議(千葉県)	
	20.5.28 ～30	・第2回「70歳雇用支援アドバイザー」認定講習 (千葉県)	
20.6.11 ～13	・第1回新任アドバイザー・インストラクター企業診断システム研修 (千葉県)		

事業名	事項	時期	実施内容
		20.6.16 ～18	・第2回新任アドバイザー・インストラクター企業診断システム研修 (千葉県)
		20.7.1 ～3	・職場活性化研修に係る講師養成研修 (必須研修) (千葉県)
		20.7.16	・高齢期雇用就業支援コーディネーター会議 (千葉県)
		20.7.23 ～24	・企業診断システム実践事例研修 (千葉県)
		20.11.12 ～14	・第1回人件費・賃金分析システム研修 (基礎編) (千葉県)
		20.11.20 ～21	・関東・甲越ブロック高年齢者雇用アドバイザー等経験交流会 (山梨県)
		20.12.10 ～12	・「70歳雇用支援アドバイザー」特別研修 (千葉県)
		21.1.21	・21年度雇用安定事業計画業務ヒアリング (東京都)
		21.1.28 ～30	・人件費・賃金分析システム研修(応用編) (千葉県)
		21.3.3 ～6	・高年齢者雇用アドバイザー資格認定講習 (千葉県)
	(3)都道府県協会との連携	年間 20.9.29 ～30 年間	①各種会議、研修会等への出席 ・関東・甲越ブロック別事務局長・業務担当部長会議 (群馬県) ②事業運営に関する各種情報及び資料の交換

Ⅲ 障害者雇用支援事業

事業名	事項	時期	実施内容
1. 障害者雇用納付金関係事業	(1)障害者雇用納付金申告受理	20.4.1 ～5.15	①納付金申告事業主 105社 納付事業主 60社 納付額 116,300千円
	(2)雇用調整金支給申請受理	20.4.1 ～5.15	①雇用調整金申請事業主 32社 支給額 29,147千円
	(3)報奨金支給申請受理	20.4.1 ～7.31	①報奨金申請事業主 26社 支給額 68,565千円
	(4)各種助成金の受給資格認定申請、支給申請の受理	年間	①障害者作業施設設置等助成金(第1種) 受給資格認定申請 4件 支給決定件数 4件 支給額 13,322千円 ②同上(第2種) 受給資格認定申請 1件 支給決定件数 10件 支給額 3,307千円 ③障害者能力開発助成金 受給資格認定申請 0件 支給決定件数 6件 支給額 27,807千円 ④重度障害者等通勤対策助成金 受給資格認定申請 3件 支給決定件数 35件 支給額 8,022千円 ⑤障害者介助等助成金 受給資格認定申請 31件 支給決定件数 331件 支給額 54,213千円
	(5)各種助成金制度の周知	20.5.20 20.6.25 ～27 20.12.4 21.1.15 ～16 21.2.23 年間	①第1回職業安定機関との連絡会議 場所 栃木労働局 23名 ②助成金関係業務担当者全国会議 場所 千葉県 障害者職業総合センター ③第2回職業安定機関との連絡会議 場所 栃木労働局 19名 ④雇用納付金関係業務担当者全国会議 場所 千葉県 障害者職業総合センター ⑤雇用納付金制度事務説明会 場所 とちぎ福祉プラザ 納付金・調整金関係 52名 報奨金関係 22名 ⑥技術顧問 3名委嘱 助成金活用事業主等に技術顧問を派遣 又は審査・指導依頼し、専門・実務的相談・援助を実施した。 審査、指導1件

		年 間	⑦支援機構の冊子等を活用し、職業安定行政当局及び栃木障害者職業センターと連携を図り、制度の利用促進協力依頼、各種講習会、研修会、協会職員(障害者雇用アドバイザー)の事業所訪問等において、制度の周知、利用勧奨を実施した。
2. 職域拡大等研究調査	(1)職域拡大のため関係機関との連携	20.5.26	①障害者職域拡大情報交換会議 職業安定行政機関及び関係機関等と事業主により障害者職域拡大に向けた情報交換を実施した。 場所 コンセーレ 40名
	(2)障害者リファレンスサービスの実施	年 間	①事業主等に対し障害者雇用モデル事例収集の実施及びリファレンスサービスの情報提供を実施した。 収集件数 3件 (社福)せせらぎ会 レンゴー(株)小山工場 大日本塗料(株)那須事業所
3. 雇用管理等講習事業		21. 2中	②障害者雇用好事例を収集し、障害者雇用情報誌を作成した。 「障害者雇用事例集」の発行 1,000部作成・配付
	(3)障害者雇用に関する指導・援助	年 間	①障害者雇用アドバイザーの配置 訪問事業所数 138社
	(1)障害者職場定着推進チーム育成事業	年 間	①設置勧奨 70社 ②育成援助 33社 ③年度末現在設置数 261社
	(2)雇用管理サポート事業	年 間	①雇用管理に係る専門的相談を実施した。
	(3)事業主地域間交流研修	20.9.8	①企業の雇用管理責任者等を対象に障害者雇用優良事業所等を視察し職域拡大、雇用の促進に努めた。 場所 国立職業リハビリテーション(所沢市) (株)西友サービス(川越市) 参加者 15名
(4)職業生活相談員資格認定講習	20.10.22 ～23	①障害者職業生活相談員資格認定講習会を実施した。 場所 とちぎ福祉プラザ 受講修了者数 67名	
(5)障害者雇用推進者講習	20.11.19	①雇用推進者(高齢・障害)を設置すべき事業所を対象に実施した。 場所 とちぎ福祉プラザ 110名 演題「当社における障害者雇用について」 講師 ゼブラ(株)野木工場 管理部チーフ 新川栄 氏	

4. 雇用啓発事業	(6)障害者職場介助者等講習	21.1.22	①重度知的障害者等の職場介助者・業務遂行援助者を対象に実施した。 場所 とちぎ福祉プラザ 40名 演題 「障害者の就労に向けた支援について」 講師(社福)せせらぎ会 生活支援ワーカー 阿久津勝俊氏
	(7)障害者雇用促進講習	21.2.23	①雇用促進に関する知識の向上を図るために企業の雇用管理責任者等を対象に実施した。 場所 とちぎ福祉プラザ 61名 演題「障害者雇用が会社を強くする」 講師 ヘイコーパック(株) 代表取締役社長 鈴木健夫 氏
	(1)障害者の作業実演による啓発(地方アビリンピック)	20.7.28	①広く障害者の職業能力に対する社会の理解と認識を高め、その雇用の促進と地位の向上を図るとともに、障害者が社会に参加する自信と誇りを持つことができる機会を提供するため技能競技大会(とちぎアビリンピック)を実施した。 場 所 県央高等産業技術学校 参加選手 60名 全体出席者数 161名 競技種目 ワードプロセッサー 表計算 紙製品再利用 喫茶サービス
	(2)雇用支援キャンペーン	20.9.1 ～30	①障害者雇用支援月間を中心に啓発活動を実施した。
		20.9.1	②広報車によるキャンペーン 近隣工業団地を巡回し啓発を実施した。
	(3)ヒューマンフェスタとちぎ2008参加	20.10.4 ～5	①地域に密着した多彩なイベントを一体的、総合的に実施する「ヒューマンフェスタ2008」において、労働局、労働政策課と連携して「考えよう！障害者雇用」をテーマとした特設ブースを開設し、障害者の雇用相談、雇用支援月間ポスター原画の展示、啓発資料を配布した。 場 所 マロニエプラザ 関係者15名
	(4)とちぎ高齢・障害者雇用フェスタ	20.10.10	①「とちぎ高齢・障害者雇用フェスタ」 場所 アピア 154名 第1部表彰式等 厚生労働大臣表彰 1事業所 栃木県知事表彰 1事業所 協会会長表彰 1事業所 第2部雇用促進セミナー 演題 「70歳雇用に向けての心構え」 講師 西岡眞一 氏 (70歳雇用支援アドバイザー)

			<p>第3部記念講演 演題 「涙と笑いの90分人生いつもありがとう」 講師 元 NHK アナウンサー 吉川精一 氏</p>
	(5)各種資料の提供	年 間	<p>①月刊誌(障害者雇用促進等関係)、参考文献等の配付、協会展示コーナーでの展示、提供 ②ビデオテープ、DVD等の貸出 ③雇用支援機器貸出</p>
	(6)地域雇用促進事業への援助協力	年 間	<p>①県内各地の雇用協会と連携を図り障害者の雇用促進事業に参加した。</p>
5. 障害者雇用継続助成金関係事業	(1)障害者雇用継続助成金	年 間	<p>①重度中途障害者職場適応助成金 受給資格認定申請 0件 支給決定件数 1件 支給額 90千円</p>
6. 代行事業	(1)障害者雇用支援月間ポスターコンテスト	20.4.1 ～ 6.19	<p>①障害者雇用支援月間の啓発活動の一環として、障害者から原画募集を実施した。 ②フォト 応募数(全国) 354点 ③絵画 応募数(全国) 2,492点</p>
7. 関係行政機関・団体等との協力体制の確立	(1)労働局及び安定所との連携体制	20.4.4 20.5.20 20.12.8	<p>①労働局及び安定所への協力要請訪問の実施 ②職業安定機関との連絡会議 ③職業安定機関との連絡会議</p>
	(2)栃木県との連携協議	20.6.16 20.11.14 ～15 20.7.16 21.3.12 20.8.7 20.12.16 21.1.26 21.3.5	<p>①栃木県障害者文化祭実行委員会 ②栃木県障害者文化祭 ③第1回栃木県障害者雇用支援合同会議 ④第2回栃木県障害者雇用支援合同会議 ⑤第1回栃木県障害者施策推進協議 ⑥第2回栃木県障害者施策推進協議 ⑦第3回栃木県障害者施策推進協議 ⑧第4回栃木県障害者施策推進協議</p>
	(3)高障機構との連携協議	20.4.23 20.4.24 20.6.26 ～27 21.1.15 ～16 21.1.21	<p>①都道府県事務局長会議(東京都) ②都道府県協会担当部長会議 ③障害者関係業務担当者全国会議及び障害者助成金担当者全国会議 ④納付金関係業務担当者全国会議 ⑤機構と21年度障害部事業計画ヒアリング(東京都)</p>